

1. 修学旅行は、何のためにあるの？

- ・昔と今の趣旨はちがう。でも子どもが「最大の楽しみ」にしているのは昔も今も同じ。
- ・子ども同士、一緒に寝泊まりするのは、やっぱりすばらしい経験になる。
- ・思い出をつくるために行くのか、行ったことが思い出になるのか。
- ・教師にとってワクワクする修学旅行は、子どもにとっても、ワクワクする修学旅行。
- ・目的は遊び？それとも学習？体験？総合？ 鈴鹿サーキット or 広島 or 奈良。
- ・今しかできないことをさせたい。

2. 従来通りからの脱却。 自分たちで創ろう！

- ・この子どもたちにどんな修学旅行をプレゼントするのか。
- ・「去年と同じ」「従来通り」・・・若い先生がこんなことを言ったらおしまいだ。
- ・去年より、少しでもグレードアップした修学旅行を！
- ・「考えただけでもワクワクする」そこからスタート。自分たちで創ろう！

3. ワクワク修学旅行の企画例 1 (奈良・修学旅行)

- ・従来の修学旅行のイメージをくずしたい。奈良は遠足で行く所？
- ・子どもの活動を中心とした修学旅行に。 グループ活動を中心に
- ・観光ではなく、学習の修学旅行に。 バスではなく、自分の足で
- ・2年前から秘かに計画。 5学年団3人の知恵
職員旅行は奈良明日香村ペンション。
警察の方の指導で交通安全教室 正しい自転車の乗り方 全員が乗れるように
5年の秋の遠足は、播磨中央公園。グループ行動、サイクリングの練習
校内修学旅行検討委員会（倉敷方面から、奈良方面に決定）
- ・奈良方面に、グループごとにJRに乗って、集合は法隆寺駅前 11:00
校長からの反対、市教委からの反対。安全面についてのクレームへの対処
「安全、安全と言いながら、子どもの成長の芽をつんではいけないか」
「子どもたちが自ら考え、自ら動くことの素晴らしさ」
- ・安全面については、徹底的に調査、練習、準備して、納得させる
下見には何度も何度も現地に行く、JRも調べ上げる
明日香村のサイクリングの道はすべてチェック
しんどいがおもしろい作業、やり甲斐のある作業
- ・失敗したら辞めてもいい覚悟
- ・子どもの事前学習、奈良の歴史を自分たちで調べる、調べた所に行くと感動も大きい。
- ・先生がいなくても行けるだろうか。行く前からワクワクドキドキ。 修学旅行物語

4. ワクワク修学旅行の企画例 2 (広島・平和学習)

- ・広島は、一生のうちに必ず一度は行っておきたい場所。戦争や原爆に触れさせたい。
- ・広島にせっかく行くのに、宿泊は宮島。2日目も宮島。これで平和学習？
- ・広島滞在にして、じっくり広島を知るプランに。
- ・これは無理です、と言われて、引き下がれば絶対に何もできない。
- ・出来ないと思うことでも、とにかくあたってみると何かが変わる。
- ・広島電鉄一日乗り放題。お小遣いを持たず。昼食はお好み村でお好み焼きを。

11年目の 1. 17

「幸せ はこべるように」 臼井 真

地震にも負けない 強い心を持って
亡くなった方々の分も 毎日を大切に生きていこう
傷ついた神戸を 元の姿にもどそう 支え合う心と明日への 希望を胸に
ひびきわたれ ぼくたちの歌 生まれ変わる神戸の街に
とどけたい 私たちの歌 幸せ はこべるように

地震にも負けない 強いきずなをつくり
亡くなった方々の分も 毎日を大切に生きていこう
傷ついた神戸を 元の姿にもどそう 優しい春の光のような 未来をゆめみ
ひびきわたれ ぼくたちの歌 生まれ変わる神戸の街に
とどけたい 私たちの歌 幸せ はこべるように

2月の予定 2月18日(土) 10:00～ 若竹公民館

- ・若手教師実践発表会
- ・子どもに実践発表の体験を 原稿の書き方 発表の仕方 資料の提示の仕方

実践発表者は、

福田祐二先生(西宮)、野村大祐先生(芦屋)、中西弘一先生(尼崎)、畦田理恵先生(西宮)

発表時間10分 テーマは自由